

1

地球科学を中心にした国際的な活動への挑戦

阪神・淡路大震災から25年が過ぎました。被災の教訓を伝え、防災減災に役立てるためには、日ごろの備えや避難経路の確認等の学習だけではなく、科学的な理解が不可欠です。近年の地球温暖化や台風、洪水、地震、津波、火山噴火等は、すべて地球科学分野のテーマですが、地学を履修する学校は全国的に多くありません。

地球科学という学問は、数学、物理、化学、生物、地学の多様な知識と理論の理解の上に成り立っています。そこで、地球科学を中心に据えた「自然科学探究基礎」で、SDGsに示される課題等に取り組み、意欲的で優れた生徒の、海外での野外調査や国際学会での発表への挑戦を支援します。

2

理系女子の育成と国際的な活動への挑戦

日本では女性の研究者が少なく、ノーベル賞受賞者は出ていません。本校には複数の課題研究で全国レベルの高い評価を受けたり、自らの能力を世界レベルで試したいと考えたりしている女子生徒が多数在籍しています。そこで、女性研究者や女子高校生らによる発表会「Girl's Expo」を開催して、理系を志す女子生徒を増やし育てます。また、国際的な舞台に挑戦する意欲的で優れた女子生徒の、海外の大学での研究や国際学会での発表への挑戦を支援します。

3

科学倫理探究のロールモデルの作成と全国への発信

AIの急速な普及によって、科学倫理の問題が大きく取り上げられるようになりました。近年、高校生の課題研究が広く行われていますが、科学倫理の学びを体系化したものはありません。そこで、科学者の社会に対する行動と責任等についての課題研究を通じて、科学倫理について学びます。

4

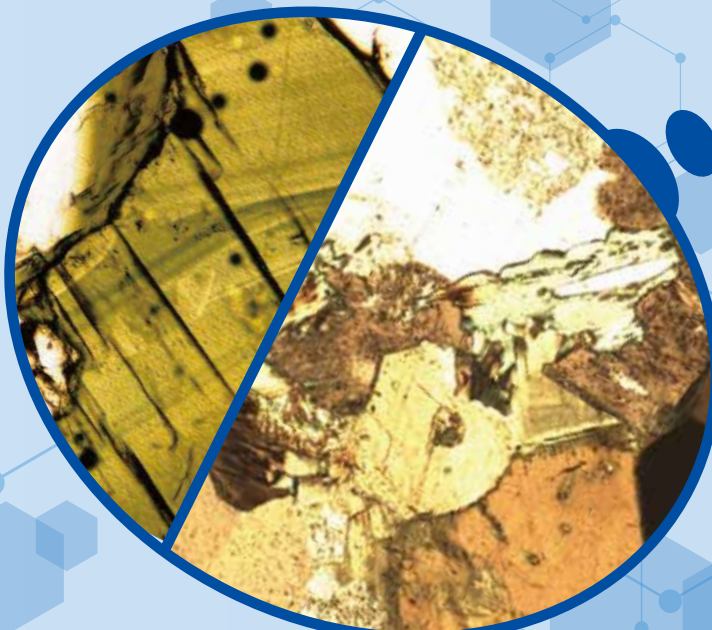
科学部の国際的な活動への挑戦

科学部の研究成果は、論文コンテストや専門学会で高い評価を得ており、神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞や日本環境化学会とともに全国第2位の優秀賞を受賞するなど、多くの全国上位入賞を果たしています。研究活動をさらに活性化させ、国際学会での発表への挑戦を支援します。

5

探究活動の評価方法の開発

課題研究をはじめとする探究活動を評価するための、マルチプルインテリジェンス理論に基づいた方法はまだ確立されていません。本校では、課題研究を推進しながら評価方法を開発します。



文部科学省スーパーサイエンスハイスクール事業

令和2年度
～6年度指定

兵庫県立姫路東高等学校



・地球科学を中心にした国際的活動への挑戦
・国際的に活躍できる理系女子の育成
・将来に向けて身に付けておくべき科学倫理観の育成